

府中高校生

小野 申人 と いきいきトーク



市長

今日は皆さん、若い人の意見を聞かせてもらいながら参考にさせていただければと思っているので忌憚のない意見をいただきたい。

《頑張っていること、活動の中で困っていること》

- ・府中高校に行きたい人が少ないので部活で伸びる人材の割合が福山市に比べて少ない。バドミントンは個人競技に思われがちだが、団体戦という戦い方もあるので、人材の少なさから福山市の人たちに勝つには相当努力が必要になる。そういうことから、府中高校に来たいと思う人を増やすために政策を重ねてほしいと思う。



市長

この前別の高校へ行ったときも同じことを言っていたが、中学校からバドミントンができる環境が府中は少ない。地域のクラブでできないこともないが、やはりなかなか高校につながっていかない。高校と中学校のつながりを持ちながらできればいいと思う。

- ・要望みたいになるが、学校でオールウェザー(全天候型)、タータン(合成ゴム)が古くて、あってもなくても変わらないくらいなので、きれいになったらいいと思う。



市長

分かりました。高校の場合は県への要望になるが。

《こういうものがあつたらいいと思うこと》

- ・府中市だけじゃないが、電車が少なくて逃したら終わりなので、電車が増えたらいいと思う。
- ・自転車で来ているので銀座通りとか毎朝通るが、全部シャッターが閉まっていて寂しい感じがする。個人としては、もっとインドアスポーツができるところを増やしたらいいと思う。ボルダリングやトランポリン、BMX とか最近アーバンスポーツがアツくなっている。僕はだいたい遊びに行くときは、神辺にテニスをしに行ったりする。府中市に遊びに来る目的は自然で、河佐峡とか三郎の滝くらいしか

なくて、室内で遊びたいときはどうしても神辺寄りに行くことが多い。そういうインドアスポーツの施設があったらいいと思う。加茂にボルダリングをすることがある。あと福山の方はスケボーとか。でも府中市もスケボーはやられていた。



市長

スケボーは、去年実験的にやって、今年もやる。そのあとどこかに常設する。ポムポムにボルダリングがあるが子ども向けなので、皆さんは使いにくいかもしれない。この前トランポリンは1件オープンした。確かにスポーツできる場所があったらいいよね。

《総合学習で取り組んでいること》

- ・プレゼンテーションに取り組んでいる。僕は社長になりたいのでプレゼンができた方がいいじゃないですか。プレゼンを見てすごいと思う人と下手だと思う人がいる。この人は何が上手くて、この人は何が下手なんだろうというのが分からなくて調べ始めた。そこからプレゼンって何のためにするんだろうと。プレゼンはその後の行動や目的があるわけで、その目的に対してのアプローチはプレゼンじゃなくてもいいんじゃないかと思い始めた。それはテクニックでもないし、みんなができる自分の得意なやり方とかあって、それを本とかで調べた。先日市議会議員さんとお話をさせていただいて、しゃべるのがあまり得意じゃないという議員さんもいらっして、その人にはその人なりのやり方があるって、でも他の人にはその人の信念や長年の経験上でのやり方があるというお話をいただいた。プレゼンとテーマも違うが、将来自分が生かそうと思っているテーマに対してはどのようなやり方がいいかを調べている。

中学校からパワーポイントが大好きで、ずっとパワーポイントで人を喜ばせるものを作ってきた。ここにこういう画像入れたら面白いとか。でもパワポじゃなくてもいいんじゃないか、わざわざ見せなくてもいいし、それを使う目的は何かと考えたときに、いらないんじゃないかな、パワポじゃなくてもいいし、他のアプリでもいいなど、感覚的なものを理論的に落とし込めたと思う。

社長になるためには、人脈が大事なかなと思う。



市長

いろんな人がいると思うので、多くの人と会うことは自分にとっていいこと。多くの経験をしてほしい。

- ・私はいとこに障害者がいて、その子と一緒に生活する中で抱えている悩みや社会に対する不満を、その子やその家族から聞きながら育ってきたので、そういう人たちが社会に参画しやすいようにするためには、私たち健常者がどんなサポートができるのかに疑問があって研究で調べている。

とりあえず府中市の障害者施設がどこにあってどんなことをしているのかを調べた。12月の頭に府中市議会さん主催の障害者ウィークというのが府中天満屋の2階で行われているのを知って行ってみたいして、府中市の障害者施設を一から全部調べることを冬休み中にやった。これからは、私の身近にいる障害者や家族の方にアンケートを取って、不満やこうしてほしいという意見を集めたいと、その結果を最終的な研究の答えにつなげていきたいと考えている。障害児の教育に携わりたいという気持ちが一番強いので、まずは特別支援学校の先生になって、サポートやその子たちが暮らしやすい社会を作りたい。障害児教育を通り越して、市議会など市を通して周りの人の意見が通りやすくなるよう広げていきたい。



市長

先生になる、障害者施設で働くなど方法があると思う。そういう方向に向かって頑張っていたきたい。

・僕は将来理学療法士になりたい。生徒会に入る前にバスケットボールをしていて、けがが原因で辞めた。自分もけがをした身として何かできることはないかと考えた。自分は筋肉が全然なかったの、どうすればより効率の良い筋肉を作れるかという内容でやっている。

とにかくタンパク質をとること。バランスのよい食事も大事。お菓子も食べちゃダメとは言わないが、資質を取りすぎると他がおろそかになる。一番はタンパク質。野菜の中で一番タンパク質がとれるのはブロッコリーなので、ブロッコリーを食べたらいいとか、そういうことを調べている。



市長

今勉強していることは、生徒会やバスケット部の子たちに限らず、スポーツをやっている子たちに参考になること。引き続き頑張る。

・言いにくいけど内職っていう、授業中に自分の勉強をするということを研究している。それがいいということを実証するためにやっている。他の科目でもいいし、数学なら授業と違う少し発展的な内容をやったりする。



市長

それをさらに理論的に体系立てて発表していこうということか。今世間では副業という発想もある。少し違うかもしれないが、授業中に違う発想をしていたら本来のこともよくなることもあるかもしれない。発想としては面白いが、だからこそよかったですと成果を発表することは難しいかもしれない。どうやって成果を見出すか。本来の数学の点数と、内職して出た点数が同じくらい良ければ成果になるのかもしれない。また分かりやすい成果が出たら教えて。

- ・語彙力を上げるためにはという問いでやっている。自分はやばいという言葉をよく使う。やばいって何でも使える。友達に語彙力が高い人がいて、その人のワードセンスというかしゃべりが面白い。やばいを使わなかったら語彙力が上がるんじゃないかと思って、やばいについて研究している。



市長

やばいという言葉についてまず調べて、それが語彙力を上げるためにつながるということ。語彙力を上げるということは、言葉をたくさん使って上手く伝えることだと思うので、先ほどの友達の研究と通じることがあるかもしれない。

- ・地方の公共交通機関を残すにはどうしたらいいかについて調べている。理由が自分が鉄道がすごい好きで、最近いろんな地方のローカル線がなくなる議論がされている。鉄道って移動手段だけでなく、観光とかの面もある。鉄道がなくなるっていうのは、そこに住んでいる人はもちろん困るけど、観光地に行きたくて乗っている人も困るので、残さないといけないと思う。そのためにどうしたらいいのかを考えてくてこの問いにした。

深い調査はできていないが、過去の事例をいっぱい調べて、その中でどういう状況にあった場合になくなってしまふのかとか、なくなってしまふて復活した例を見つけて、復活した原因を調べたりしている。



市長

今言ってくれたように、福塩線は府中から三次間はどうなるかが心配されている。芸備線も。本当に言う通りで、公共交通機関はものや人を運ぶだけでなく、観光としての資源でもある。この前新聞に載っていたが、踏切の写真が撮られた方が本にまとめて出されたり、福塩線の写真展も何年前にあった。電車が走る町並みはやっぱいいなと思うので、写真を通してでもいいので、公共交通、特に鉄道について考えてもらいたい。

- ・今調べているのは、神石高原町を活性化させるにはどうしたらいいかということ。実際に神石高原町が行っている活動と、あと府中市の活動もこの前の市議会議員さんとの対談とインターネットを使って調べている。

問いをたてた理由がそもそも、僕も家族も温泉が好きで、神石の温泉に行くが、すごくいいところなのにあんまり人がたくさん入っているところを見たことがないので、もっと人が増えてくれたらいいなと思って選んだ。後々温泉の人とかにも話が聞けたらなと考えている。

住んでもらう人を増やす取り組みは神石高原町さんもされていたので、僕は外から来てくれる人を増やして帰りに温泉に寄ってくれたらいいなと考えている。そのためにもともと公園って考えていたが、今は発展してフォレストアドベンチャーを作ってみれば、観光で来てくれる人が増えてお土産とかの売り上げも増え

るんじゃないかと思っている。



市長

スコラ高原、仙養ヶ原とかいいところがたくさんあるので、もっと人を呼び込めたらね。

《市長への質問》

・府中市が今一番力を入れていることはなんですか？



市長

やはり子育て、教育。あとはスポーツについても取り組んできて、今年上下に人工芝のグラウンドを作る。さらには駅の南にプールを作る。理学療法士やトレーナーの方にも手伝ってもらって市民の健康増進にもぜひ取り組んでいこうとは思っている。教育で言うと、府中市は早くから小中一貫教育を始めていて、今は高校も連携を取っていったりはいる。子どもの出生数が少ない中で、子どもに対する支援もしっかりしていかないとと思う。

・電車の優先席の有無についてどういう考えをお持ちですか？



市長

将来的にはなくても譲り合う気持ちを持ってくれるのが一番いいと思うが、とはいえ優先席を置いていることによって困っている人が来られた時に譲りやすくなるということもあるかもしれない。将来的にはなくなった方がいいかなと言ったが、本当になくなってしまったときに、みんなの意識が高まる必要もあるかなと思う。

・市長が福塩線の存続に対して思っていることは？



市長

電車というのはものや人を運ぶだけではなく、観光にもつながる。地域、特に中山間にとって、公共交通機関、特に鉄道は絶対に残さないといけないと思っている。それは僕も強く JR に言っている。府中市だけで残してくれと言うわけにもいけないので、県とか近くの世羅や三次市さんとかと一緒に、残してもらえるように働きかけている。あともう一つ大事なことは、実際に使われている住民の人たちの意見が大切なので、住民の皆さんも一緒になって残していく方向で運動をしていってもらいたいという思いもあるので、その辺も僕の方から伝えながら取り組んでいきたいと思っている。